

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト1 魅力ある雇用創出プロジェクト

【方向1-1 企業における新開発等への挑戦、人材育成等への支援】

施策1

企業の市内への投資拡大と中小企業の新分野への進出促進

① 企業立地奨励補助事業の充実による企業の市内への投資拡大と新規雇用創出の促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
指定工場等の指定件数	累計175件	7件	12件	毎年6件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
企業立地奨励補助事業の根拠法令である「延岡市企業立地促進条例」にて定められている指定工場等は、市内への投資の拡大と新規雇用の創出が見える化されている指標であるため。	S60～H26 132件 H27 5件 H28 10件 H29 6件 H30 14件 R01 8件	令和2年度指定件数 7件 <業種内訳> 工場・試験研究施設・観光施設・流通関連施設 6件 情報サービス施設 1件	令和3年度指定件数 12件 <業種内訳> 工場・試験研究施設・観光施設・流通関連施設 10件 情報サービス施設 2件	工場・試験研究施設・観光施設・流通関連施設 4件 情報サービス施設 2件

② 中小企業が行う新たな取り組みへの支援、産業支援キーパーソンによる企業の生産性等の向上

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
新技術等の取り組み・生産性の向上等の取り組み案件	5年間に150件	32件	35件	5年間に150件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
製造業をはじめとする産業の振興を図るには、新分野への取り組みや企業間連携による新たな付加価値の創造、企業における生産性の向上等に対する支援が必要であるため、指標として設定。	H27 23件 H28 17件 H29 37件 H30 34件 R01 39件 合計 150件 (5年間)	元気な中小企業応援事業 6件 地域産業プロモーター 5件 改善インストラクタースクール ・受講企業 8件 ・OB派遣企業 13件	元気な中小企業応援事業 8件 地域産業プロモーター 6件 改善インストラクタースクール ・受講企業 7件 ・OB派遣企業 14件	各年度平均30件を目標とする。
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
医療関連機器の製品化件数	1件/年	3件	3件	5年間に10件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
これまでの支援（展示会への出展支援、専門家派遣、専用コンサルティングの活用等）により、医療関連機器が製品化している案件が出ており、指標として設定。	R01 1件	R02 3件	R03 3件	毎年度平均2件を目標とする。 * 医療関連機器を開発する地場企業と協議のもと設定。

③ 販路の開拓やビジネスマッチングの創出

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
新たな販路の開拓や新規の高談等が進んでいる件数	5年間に253件	38件	44件	5年間に275件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
都市部や海外などでの展示会や商談会への出展支援等を行うことで、中小企業が高技術や商品、サービス等を積極的に情報発信し、新たなビジネスチャンス創出の機会を創出し、中小企業の活性化を図るため、指標として設定。	H27 41件 H28 39件 H29 56件 H30 50件 R01 67件 5年間累計253件 ※延岡市販路開拓補助事業により展示会等に出展した企業の実績	R02 38件 (図面検討依頼1、試作依頼4、見積依頼33)	①延岡市販路開拓補助事業 R03 33件 (図面検討依頼2、試作依頼0、見積依頼31) ②リンクージ機構 (販路開拓) R03 11件 (相談件数)	・延岡市販路開拓補助事業の実績に基づき5年間に250件。 ・リンクージ機構の設立に伴う相談件数を5年間で75件と設定。その相談件数の1/3 (25件) を販路開拓と仮定。 250件+25件=275件。

④ 就職説明会等の開催による雇用の創出、大学・高校と連携した地元企業への就職促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
地元企業への就職に繋がった人数	5年間に459人	132人	123人	5年間に500人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
以下の説明会における地元企業への就職人数 ○県が主催する就職説明会 ○市が主催する就職説明会 ○延岡地域雇用促進協議会による ①セミナー ②就職説明会	H27 121人 H28 72人 H29 78人 H30 154人 H31 34人 合計 459人 (5年間)	雇用促進協議会主催説明会、セミナー参加者による就職者数 ※県・市主催の説明会は新型コロナウイルスの影響により中止	県主催の就職説明会 3人 地域雇用促進協議会 120人 ※市主催就職説明会については、今後調査を予定	毎年100人を目標とする。 * H27～H30の平均値より

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト1 魅力ある雇用創出プロジェクト

⑤ I T関連企業の誘致（空き家等の賃貸物件への誘致を含む）				
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	実績値（R2）	1年目実績（R3）	目標値（R7）
I T関連企業の誘致数	1社	0社	5社	5年間に10社
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
I T関連企業の誘致は、以下の理由から積極的な誘致を進めていく必要があるため。 ・若い世代をはじめとした雇用創出に繋がるため ・IT・IoT、AI等を活用した様々な社会課題の解決につながるため	H26 1社 H27 1社（立地調印式のみ） H30 1社 R01 2社（立地調印式のみ1社）	コロナウイルス感染症拡大等の影響により実績なし	・株式会社オムニバス ・健幸わかば株式会社 ・株式会社ブラージュ ・マイプラス株式会社 ・株式会社オレンジゲート	延岡駅西口街区再開発ビルに5社（進出を決めているエッジコネクションを含む） 上記以外の誘致企業5社

【方向1-2 工業団地等への企業誘致促進】

施策1	企業誘致の促進
-----	---------

① 新たな産業団地の整備とクエアパーク延岡工業団地の機能強化

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	実績値（R2）	1年目実績（R3）	D
新たな産業団地の整備	-	-	-	分譲面積約10ha
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
企業誘致において、企業の受け皿となる用地は必須だが、本市の工業団地は完売状態となっており、新たな産業団地の整備は必要不可欠である。	R1年度にパブリックコメントを実施。基本計画の策定に着手。	基本計画を策定し、整備予定地区（天下区）に対し、説明・意見の聞き取りを行った。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、地元説明会は未開催。	地元役員との協議中を継続中。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、地元説明会は未開催。	R5年度末までに、分譲面積約10haの産業団地を整備する計画である * R1年度段階での計画。

【方向1-3 農林水産資源の活用】

施策1	農業所得アップに向けた取組の推進
-----	------------------

① 農産物の高付加価値化、規模拡大等による売上の増大

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	実績値（R2）	1年目実績（R3）	目標値（R7）
園芸用ハウスの設置件数	6件	2件	2件	5年間に20件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
農業者の農業所得の向上を図るには、農産物の高付加価値化を図る必要があるため、園芸用ハウスの整備は必須であることから。	園芸用ハウス設置件数実績 H28 2件 H29 4件 H30 4件 R01 6件 R02 2件 平均3.6件	園芸用ハウス設置件数実績 R2 2件 (国庫1件、市単1件)	園芸用ハウス設置件数実績 R3 2件 (市単2件)	過去の実績平均が3.6件のため、年間4件と仮定し、×5ヶ年の目標値を20件と設定した。

② ベストミックスの実証・検証による農業所得の向上

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	実績値（R2）	1年目実績（R3）	目標値（R7）
ベストミックス実証・実践圃場数	6圃場	13圃場	13圃場	5年間に210圃場
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
延岡の土地に適した高収益作物の、新たな作付体系（ベストミックス）の実証と検証を行う事により、農業所得向上に繋げられることが期待できるため。	事業実績 R01 6圃場（4品種） R02 12圃場（11品種）	事業実績 R02 13圃場（10品種）	事業実績 R3 13圃場（10品種）	①ベストミックス実証圃 12圃場×5ヶ年=60圃場 ②一般農家への普及実践圃場 30圃場×5ヶ年=150圃場 ①+②=210圃場

③ 薬草等の産地化による所得の向上

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	実績値（R2）	1年目実績（R3）	目標値（R7）
薬用作物等栽培面積	20a	20a	27.5a	5年間に1ha
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
薬用作物である、サフラン、ムラサキ、シャクヤクについて、中山間地の特産として農業所得の向上に繋がるだけでなく、シャクヤクは花が景観作物として活用され耕作放棄地対策となることが期待されるため。	薬用作物作付面積 R01 20a	薬用作物作付面積 R02 20a	薬用作物作付面積 R3 27.5a	現状のサフラン、ムラサキに加え、シャクヤクの作付けを企図しており、集落単位の作付けを想定していることから、年間20a×5ヶ年=1haとした。

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト1 魅力ある雇用創出プロジェクト

④繁殖雌牛の頭数の維持・拡大支援事業

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
子牛出荷頭数	1201頭	1255頭	1,228頭	1300頭/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
農家にとって繁殖牛の育成、販売は主要な産業の一つであり、生まれて市場に出荷された子牛の数が増えることが、農家所得の向上につながるため。	5月市 203頭 7月市 213頭 9月市 188頭 11月市 189頭 1月市 185頭 3月市 223頭	5月市 229頭 7月市 210頭 9月市 208頭 11月市 190頭 1月市 206頭 3月市 212頭	5月市 208頭 7月市 205頭 9月市 209頭 11月市 214頭 1月市 189頭 3月市 203頭	平成30年から令和元年（2年間）の平均増加頭数に延岡市の飼養繁殖牛に対する子牛の出荷頭数の割合をかけた算出している。 1年間出荷頭数見込み 18.4頭 18.4頭 × 5年 = 92頭 ÷ 100頭

⑤農地の集積・集約化等によるコスト縮減

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
農地の集積・集約化	5年間に117ha	69.7ha	98.4ha	5年間に250ha増加
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
国も重点的に推進している農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を、農家所得アップに向けた生産コストの縮減の指標の一つとして設定した。	※参考 過去5年間の実績 H27 5.2 ha H28 12.3 ha H29 9.6 ha H30 28.5 ha R01 1.4 ha 合計 117 ha	※参考 農地中間管理事業を活用した令和2年度の集積実績 R2 69.7ha 合計 69.7 ha	※参考 農地中間管理事業を活用した令和2年度の集積実績 R3 98.4ha 合計 98.4 ha	円滑化事業からの切替 86.56 ha 沖田第1（未設定分）77.50 ha 沖田第2（未設定分）64.20 ha 重点地区①（うつき） 21.95 ha 合計 250.21 ha ≒ 250 ha

⑥ICT技術の導入支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
ICT等を活用した機器等導入に係る補助件数	1件	1件	5件	5年間に15件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
ICT等を活用した機器等導入することで、農林水産物等の生産性及び品質の向上につながり、しては生産者の所得向上につながるため	県単事業により農業用ドローン導入：1件	農業分野 実績なし 林業分野 1件（捕獲ワナシステム） 水産分野 実績なし	農業分野 2件 ・自動運転田植機 1件 ・農業用ドローン操縦技能認定 1件 畜産分野 3件 ・分娩監視装置 2件 ・畜舎内自動噴霧装置 1件	農業分野、畜産分野、水産分野における毎年1件ずつ補助することを想定し、算定 3件×5年=15件

⑦多様な販路の開拓・確保など流通体制の構築

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
ふるさと納税返礼品の新規登録数	103品	208品	227品	5年間に300品
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
新たな販路開拓のツールの一つとしてふるさと納税を利用することで、農林水産物等の販売促進、生産者の所得向上につながることを期待できるため	R元年度、新たに追加登録したふるさと納税返礼品157品 うち、第一次産業による返礼品103品 ・農畜産物：80品 ・海産物：23品	・水産物：133品 ・農畜産物：75品（肉類23品、農産物15品、果樹31品、米4品、茶2品）	・水産物：125品 ・農畜産物：102品（肉類41品、農産物19品、果樹13品、米25品、茶2品、卵1、花1）	R2年度：120品を基準とし、それ以降の新規登録数については前年度の80%程度を見込んで算定 R3年度：96品 R4年度：76品 R5年度：60品 R6年度：48品 R7年度：38品 計：約300品
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
ECサイト登録商品数	-	-	120品	5年間に100品
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
新たな販路開拓のツールの一つとしてECサイトを活用することで、農林水産物等の販売促進、生産者の所得向上につながることを期待できるため	R2年度ECサイト構築のため、基準値なし （参考）新型コロナウイルス対策として実施した農林水産物等の消費回復のためのキャンペーン事業においては、34事業者（農林水産関係）登録セット商品数：約120商品	新型コロナウイルスの影響により、ECサイト構築スケジュールが遅れ、R3年4月の運用開始となったため実績なし	R3年度末時点で40事業者、120商品	ECサイト登録事業者を30事業者程度を目標とし、1事業者あたり3品～4品程度の商品登録として算定

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト1 魅力ある雇用創出プロジェクト

施策2 木造りの取組みによる木材流通の促進

①のべおか産材の新商品開発、販路開拓、流通促進に向けた取組の支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
市の6次化事業で支援するのべおか産材を使った新たな商品数	-	1品	3品	5年間に15品
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
のべおか産材を使い新商品を開発し販売拡大の成果が発揮されれば、経済効果や雇用対策につながるるとともに、木材の消費拡大が図られるため必要不可欠である。	令和元年度から公募を開始し、2者を事業採択した。Ply Core CLT、ヒノキ精油を使ったサニタリー商品の研究を開始	ヒノキ精油を使ったサニタリー商品の原液の海外販売（商品2,000本分の輸出）	ハイブリッド木質パネル（Ply Core CLT）を開発し、机等を商品化 ①机 ②サイドテーブル ③打ち合わせスペース	令和2年度 1品 令和3年度 2品 令和4年度 5品 令和5年度 3品 令和6年度 2品 令和7年度 2品

②効率的な林業経営の持続・促進に向けた林道整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
林道の開設延長	累計484km	累計484km	累計485 km	累計492km
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
木材流通の促進、原木の安定供給及び生産コスト縮減による効率的な林業経営を図るため、林道網の整備は必要不可欠である。	令和2年版市勢 林道現況より林道総延長 484,539.9m（令和2年3月末時点）	令和3年版市勢 林道現況より林道総延長 484,772.1m（令和3年3月末時点）	令和4年版市勢 林道現況より林道総延長 485,286.2m	地域再生計画の計画延長よりR02～R07 合計 7,830m（累計） 492,369.9m ≒ 492km

施策3 安定した漁業経営の確立に向けた取組の推進

①水産物の販路開拓、消費拡大、高付加価値化等に向けた取組の支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
漁業経営体の1経営体あたりの生産力	33百万円	36百万円	34百万円	40百万円/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
市内の水産物の現状及び目標数（所得10%UP）を可視化するとともに、課題等の分析及びその対策構築に繋げるために、各漁協から報告のある「漁獲高・生産額」「経営体数」を基に、1経営体あたりの生産額を目標に設定。	R01 生産額 11,136百万円 経営体数 339団体 1経営体あたりの生産力 $11,136百万円 \div 339団体 = 32.8百万円$	R02 生産額 10,741百万円 経営体数 300団体 1経営体あたりの生産力 $10,741百万円 \div 300団体 = 35.8百万円$	R03 生産額 9,667百万円 経営体数 281団体 1経営体あたりの生産力 $9,667百万円 \div 281団体 = 34.4百万円$	令和5年までに 10%UP $33百万円 \times 110\% = 36.3百万円$ 令和7年までに 10%UP $36.3百万円 \times 110\% = 39.9百万円$
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
水産物の商品化・ブランド化数	累計12種類	累計13種類	累計15種類	累計17種類
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
地域間競争に勝ち抜き、水産関係者の所得向上を図るためには、その製品のストーリー性や商品力が強く求められます。そこで、行政と水産関係者の連携強化及び水産業振興の加速化を目指すために、各産品の商品化数・ブランド化数を設定。	①ひむか本さば ②へべすブリ ③桜舞カンパチ ④一口あわび ⑤ほろ酔いカンパチ ⑥延岡岩ガキ ⑦八郎サバ ⑧灘アジ ⑨宮崎カンパチ ⑩ひなた小町 ⑪サクラマス ⑫金寿カンパチ	R02 新規商品化又はブランド化 ⑬しまら真鯛	R03 新規商品化又はブランド化 ⑭のべおか黄金鮎 ⑮のべおか若鮎	1商品/年の商品化 又は 1商品/年のブランド化 を目標

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト1 魅力ある雇用創出プロジェクト

施策4 農林水産業の多様な担い手の育成・確保

① 農業の担い手育成・確保対策、新規就農者育成・確保支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
55歳未満の新規就農者数	7人	3人	3人	5年間に30人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
農林水産業の後継者不足が深刻な中、国の補助事業だけでなく、その対象とならない親元就農や雇用就農など本市独自の支援を受け、就農を開始した55歳未満の新規就農者を指標として設定した。	※参考 過去5年間の実績 (H27年度市単事業開始) R01 7人 (市: 7人、国: 0人) H30 11人 (市: 8人、国: 3人) H29 3人 (市: 1人、国: 2人) H28 5人 (市: 4人、国: 1人) H27 1人 (市: 0人、国: 1人) 合計 27人 (市: 20人、国: 7人)	新規就農者数 (55歳未満) R02 3人 (市3人、国0人)	新規就農者数 (55歳未満) R03 3人 (市3人、国0人)	過去5年間の実績: 27人 27人 + a = 30人

② 農山漁村版ハローワークを活用した就業者の確保

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
農山漁村版ハローワークを活用した就業者数 (短期雇用含む)	-	-	877人	5年間に1,800人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
R2年度に農山漁村版ハローワークの開設予定であることから、深刻な農林水産業の労働力不足を解消することに資すると期待されるため。	運用前	サイトの完成に時間を要し、R3年度からの運用開始となったため実績なし	①NobeWorker 23名 ②農福連携 854名 (延べ)	農山漁村版ハローワークでは農福連携にも同時に取り組むことから、 ①常時・短期雇用含め、 月5名×年=60人×5ヶ年=300人 ②農福連携による施設外就労者数267名 (R1年度実績延人数) ÷ 300人×5ヶ年=1,500人 ①+②=1,800人

【方向1-4 中小企業の成長と新たな企業者の誕生の促進】

施策1 新時代のビジネスにチャレンジする創業の促進等

① 中小企業等成長戦略『新分野挑戦、創業・事業承継等への支援』

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
新規創業者数	5年間に270人	43人	57人	5年間に350人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
延岡市長期総合計画に定める創業支援に取り組み、その評価指標として、新規創業者数を設定した。	創業支援等事業計画における新規創業者の延べ人数 H27 75人 H28 58人 H29 45人 H30 53人 H31 39人 合計 270人	創業支援等事業計画における新規創業者数 R02 43人	創業支援等事業計画における新規創業者数 R03 57人	70人×5年=350人 ①H31実績 39人 ②創業支援融資利子補給者 24人 ③その他の新事業の効果 7人 ①-③合計 70人/年

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト1 魅力ある雇用創出プロジェクト

【方向1-5 体験型観光・滞在型観光の推進】

施策1

滞在時間の長い体験型観光・滞在型観光の推進

①観光のへおが誘客推進「観光情報発信、6S(自然体験、食、神話・歴史、スポーツ、産業、里帰り)を活かした観光振興、誘客等

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
主要観光施設利用者数	約114.1万人	約71.6万人	約78.1万人/年	136万人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
本市が誇る6S(自然体験、食、神話・歴史、スポーツ、産業、里帰り)を最大限に活かした独自の観光商品づくりを推進するとともに、より効果的な情報発信や旅行者等へのプロモーションにより年々減少傾向にある観光客の増加を図るための指標として設定している。	H27 1,235,725人 H28 1,159,619人 H29 1,187,206人 H30 1,180,400人 R01 1,140,639人 <主要観光施設(7施設)> 道の駅北川はゆま、道の駅北方よつちみろ屋、浜木綿村、須美江家族旅行村、ETOランド、祝子川温泉美人の湯、ヘルストピア延岡	道の駅 北方よつちみろ屋 182,182人 北川はゆま 268,430人 浜木綿村 97,815人 須美江家族旅行村 56,718人 ETOランド 4,028人 祝子川温泉美人の湯 3,084人 ヘルストピア延岡 104,233人	道の駅 北方よつちみろ屋 184,044人 北川はゆま 276,140人 浜木綿村 97,360人 須美江家族旅行村 63,765人 ETOランド 6,036人 祝子川温泉美人の湯 1,501人 ヘルストピア延岡 152,156人	ピーク時である平成27年度の10%アップ、令和元年度比で20%アップを目標値とする。
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
主要宿泊施設宿泊者数(内 外国人宿泊者数)	約25.7万人 (4,216人)	約16.8万人 (578人)	約22.3万人 (108人)	31万人/年 (5,100人/年)
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
本市が誇る6S(自然体験、食、神話・歴史、スポーツ、産業、里帰り)を最大限に活かした独自の観光商品づくりを推進するとともに、より効果的な情報発信や旅行者等へのプロモーションにより年々減少傾向にある観光客の増加を図るための指標として設定している。	H27 213,587人 H28 223,545人 H29 257,600人 H30 258,127人 R01 256,782人 <主要宿泊施設(11施設)> エンシティホテル延岡、アパホテル宮崎延岡駅前、ホテルルートイン延岡駅前、アパホテル宮崎延岡駅前、延岡第一ホテル、ビジネスホテルフクハラ、延岡アーバンホテル、延岡ロイヤルホテル、ホテルエリアワン延岡、愛宕旅館、紺碧	4月 6,960人 5月 5,786人 6月 10,116人 7月 15,991人 8月 11,081人 9月 15,796人 10月 18,999人 11月 22,300人 12月 16,181人 1月 11,240人 2月 13,940人 3月 19,404人	4月 18,187人 5月 13,699人 6月 14,148人 7月 21,485人 8月 16,551人 9月 13,489人 10月 20,833人 11月 25,916人 12月 25,678人 1月 18,927人 2月 14,041人 3月 19,780人	令和元年度比で20%アップを目標値とする。

②のへおか民泊の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	実績値 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
民泊者数	298泊	62泊	329泊	360泊/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
自然体験型プログラム等のアウトドア体験観光の充実を図るとともに、児童生徒の校外学習や修学旅行誘致も視野に入れた「民泊」を推進するための指標として設定している。	H27 107人 H28 118人 H29 175人 H30 300人 R01 298人	遊季 36泊 お和や 8泊 美々地れんげ亭 1泊 八起ふもんじ 8泊 海狸家 7泊 freedom 2泊	遊季 43泊 お和や 12泊 美々地れんげ亭 4泊 八起ふもんじ 41泊 海狸家 87泊 freedom 64泊 あんちゃんの家 12泊 厩 7泊 献上そばの里 45泊 しいの木 4泊 隆盛家 1泊 学び舎ヒノワ(陽の環) 9泊	令和元年度の年間宿泊者数を基準に、20%アップの年間360泊を目標とする。

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト2 移住・定住推進、関係人口創出プロジェクト

【方向2-1 戦略的な情報発信による移住促進】

施策1

移住専門窓口による住居・仕事・生活等の総合的な情報のワンストップサービスの提供

①移住者向け情報の発信

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
ホームページアクセス数	4年間に55,854件	5,521件	8,126件	5年間に60,000件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
本市では移住者への情報発信手段として、専用サイト「すみずみ延岡」ならびにLINE@を設置しているため設定 (サイト開設：H28年4月～)	H28：23,936件 H29：11,076件 H30：11,870件 H31：8,972件	令和2年度におけるホームページアクセス数	令和3年度におけるホームページアクセス数	年間12,000件を目標 *これまでの実績と今後取り組むUIターンを中心とした情報発信の効果を反映。
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
相談件数	5年間に559件	94件	133件	5年間に700件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
移住者への情報発信は市相談窓口への問合せや移住相談会等で行っているため設定 (窓口開設：H28年1月～)	H28年1月～R2年3月末までの市役所ならびに移住相談会等への相談件数 H27：4件 (1-3月) H28：121件 H29：171件 H30：144件 H31：119件	R2年4月～R3年3月末までの市役所ならびに移住相談会等への相談件数	R3年4月～R4年3月末までの市役所ならびに移住相談会等への相談件数	第1期は年間100件を目標に設定していたが、これまでの実績と今後取り組むUIターンを中心とした情報発信による効果をふまえ、年間140件を目標値に設定

②おためし移住等による移住者支援の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
移住者数	5年間に160世帯	63世帯166名	52世帯136名	5年間に200世帯
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
移住者支援を行った結果、移住につながった世帯数で設定 (支援開始：H28年1月～)	H28年1月～R2年3月末までに移住者支援を受け移住した世帯数と人数 H27：6世帯 11人 (1-3月) H28：24世帯 60人 H29：45世帯 110人 H30：47世帯 105人 H31：38世帯 118人	R2年4月～R3年3月末までに移住者支援を受け移住した世帯数と人数	R3年4月～R4年3月末までに移住者支援を受け移住した世帯数と人数	第1期は年間20世帯を目標に設定していたが、これまでの実績と今後取り組むワーケーション等の施策による効果をふまえ、年間40世帯を目標値に設定

施策2

多様な住まい方の情報発信と支援策の強化

①移住者向け住宅支援などによる移住促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
助成戸数	4年間に79戸	30戸	26戸	5年間に150戸
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
本市の特性を活かし、移住者の新築・中古の住宅取得に対する支援を行い、移住人口を増やすとともに、社会環境問題となっている空き家対策を踏まえた中古住宅の利活用も図る。	H28：5戸 H29：23戸 H30：25戸 R01：26戸 合計：79戸	令和2年度：30戸	令和3年度：26戸	令和3年度：30戸 令和4年度：30戸 令和5年度：30戸 令和6年度：30戸 令和7年度：30戸 合計：150戸

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト2 移住・定住推進、関係人口創出プロジェクト

【方向2-2 東九州の中心都市としての新たなイメージ創り】

施策1 観光交流の拡大のためのプロモーション活動や観光関連事業の実施

①観光のへおかの機能強化「観光施設の環境整備や観光プロモーション、各種イベントの実施等」

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
主要観光施設利用者数 (再掲)	約114.1万人	約71.6万人	約78.1万人/年	136万人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
本市が誇る6S(自然体験、食、神話・歴史、スポーツ、産業遺産、里帰り)を最大限に活かした独自の観光商品づくりを推進するとともに、より効果的な情報発信や旅行者等へのプロモーションにより年々減少傾向にある観光客の増加を図るための指標として設定している。	H27 1,235,725人 H28 1,159,619人 H29 1,187,206人 H30 1,180,400人 R01 1,140,639人 <主要観光施設(7施設)> 道の駅北川はゆま、道の駅北方よつちみろ屋、浜木綿村、須美江家族旅行村、ETOランド、祝子川温泉美人の湯、ヘルストピア延岡	道の駅 北方よつちみろ屋 182,182人 北川はゆま 268,430人 浜木綿村 97,815人 須美江家族旅行村 56,718人 ETOランド 4,028人 祝子川温泉美人の湯 3,084人 ヘルストピア延岡 104,233人	道の駅 北方よつちみろ屋 184,044人 北川はゆま 276,140人 浜木綿村 97,360人 須美江家族旅行村 63,765人 ETOランド 6,036人 祝子川温泉美人の湯 1,501人 ヘルストピア延岡 152,156人	ピーク時である平成27年度の10%アップ、令和元年度比で20%アップを目標値とする。

②東九州自動車道開通による誘客の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
延岡南道路 一日平均交通量	12,004台/日	10,176台/日	10,915台/日	14,000台/日
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
本市は、大分市、熊本市、宮崎市から同程度の距離に位置しており、東九州自動車道という「縦軸」の開通と九州中央自動車道という「横軸」の整備推進により、「東九州の中心に位置するクロスポイント(交差点)」として、人・物・情報等が行き交うまちへと成長しようとしていることから、延岡南道路の1日平均交通量を指標として設定している。	各年度の日平均交通量 H30 11,953台/日 H29 11,760台/日 H28 11,774台/日 H27 11,275台/日 H26 10,456台/日	R2年度の日平均交通量 4月 8,435台/日 5月 7,559台/日 6月 9,939台/日 7月 10,800台/日 8月 9,515台/日 9月 10,713台/日 10月 11,554台/日 11月 11,912台/日 12月 11,094台/日 1月 8,977台/日 2月 10,023台/日 3月 11,593台/日	R3年度の日平均交通量 4月 10,601台/日 5月 9,293台/日 6月 10,341台/日 7月 11,490台/日 8月 10,193台/日 9月 10,113台/日 10月 11,487台/日 11月 12,376台/日 12月 12,891台/日 1月 10,750台/日 2月 9,955台/日 3月 11,486台/日	(試算1)直近5年間の年平均増加台数310台/年をもとに算出 (試算2)東九州自動車道(延岡南IC~清武南IC)の全線平均交通量をもとに算出 これらに加え、九州中央自動車道の進捗率の向上に伴う、西九州との往來の増加が見込まれる要因を加味し令和7年の目標値を14,000台/日とする。

【方向2-3 歴史・文化・自然を活かした観光資源の強化】

施策1 歴史・文化・自然・スポーツを活かした観光資源のプロモーション活動や交流人口の拡大

①祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力発信

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
エリア内の観光客数(鹿川地区、祝子川地区)	55,619人	38,774人	38,586人	81,400人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
平成29年度の祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録を契機として、情報発信や環境整備、環境保全等の取組みを進めている。 令和2年度においては新型コロナの影響でいったん観光客数は急激に落ち込んだが、終息後を見据え、これらの取組みを再開、強化して、観光客の増加を図る。	北方(鹿川地区) 36,453人 鹿川渓谷 27,414人 比叡山 9,039人 北川(祝子川地区) 19,166人 祝子川温泉 8,823人 大崩山 6,763人 祝子川渓谷 1,827人 神さん山 1,753人	北方(鹿川地区) 31,124人 鹿川渓谷 23,509人 比叡山 7,615人 北川(祝子川地区) 7,650人 祝子川温泉 3,722人 大崩山 2,302人 祝子川渓谷 728人 神さん山 898人	北方(鹿川地区) 32,999人 鹿川渓谷 24,890人 比叡山 8,109人 北川(祝子川地区) 5,587人 祝子川温泉 2,083人 大崩山 1,742人 祝子川渓谷 868人 神さん山 894人	北方(鹿川地区) 53,360人 鹿川渓谷 40,130人 比叡山 13,230人 北川(祝子川地区) 28,040人 祝子川温泉 12,910人 大崩山 9,900人 祝子川渓谷 2,670人 神さん山 2,560人

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト2 移住・定住推進、関係人口創出プロジェクト

②歴史・文化ゾーンによる魅力あるまちづくりの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
城山公園利用者数	58,855人	36,976人	42,929人	67,000人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
歴史・文化ゾーン内に位置する城山公園の利用者数を、魅力あるまちづくりの推進の指標として設定することとした。	令和元年度実績 58,855人 H27: 46,178人 H28: 48,996人 H29: 50,605人 H30: 52,319人 R01: 58,855人 R02: 23,650人※予測	令和2年度実績 36,976人 ・鐘守からの日報による報告 24,430人 ・観光戦略課より(夜桜分) 12,546人	令和3年度実績 42,929人 ・鐘守からの日報による報告 21,680人 ・観光戦略課より(夜桜分) 21,249人	目標値は、R元年度までの実績を基にした直線近似式により設定。城山公園周辺の施設整備との相乗効果を考慮し、前回より高い人数設定となった。
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
「延岡城・内藤記念博物館」利用者数	846人 ※南別館にて仮展示	273人 ※南別館にて仮展示	429人 ※南別館にて仮展示	50,000人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
「延岡城・内藤記念博物館」は、市民の文化活動の拠点の1つとして、城下町延岡や和の空間を感じられ、地域や世代を超えた交流の場の創出を図ることとしている。そのため、常設展示や企画展示の見学者のほか、和室棟の利用者や日本庭園等を鑑賞する方々を含め、数多くの方が来場することをふまえ、利用者数を指標として設定。	H27実績 企画展 2,000人(1回) 常設展 7,000人 会議室等使用 5,500人 ※H28企画展なし。 ※H29より南別館に移転中。	常設展 273人 ※企画展なし。 ※H29より南別館に移転中。	常設展 429人 ※企画展なし。 ※H29より南別館に移転中。	企画展3回 30,000人(20日各10,000人) 常設展 12,000人(50人×240日) 和室棟・敷地利用 8,000人 * 開館300日
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
野口遵記念館利用率(ホール)	(再整備中)	(再整備中)	(再整備中)	60%/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
・昭和30年に建設された野口記念館は、文化活動や式典等の場など、多くの市民が来場する公会堂施設として親しまれてきたが、利用がない際は閉館しており、また、施設・設備の老朽化もあって、終盤の利用率は30%台にとどまっていた。 ・周辺施設との親和性を高め、賑わいの創出に繋げるために、施設(ホール)の利用率を、魅力あるまちづくりの推進の指標として、設定することとした。	・令和元年度に、旧野口記念館の解体・撤去を行ったため、基準値(R1)の設定なし。 ※過去3箇年の利用率実績 H28年: 36% H29年: 31% H30年: 36%	・令和元年度に、旧野口記念館の解体・撤去を行い、令和4年中の開館に向け再整備中のため、基準値(R2)の設定なし。 ※旧野口記念館の利用率実績 H28年: 36% H29年: 31% H30年: 36%	・令和4年中の開館に向け再整備中のため実績なし。	・野口遵記念館建設 基本構想・基本計画の策定の際の調査結果より。 * 全国公立文化施設協会の劇場施設等の調査における同規模のホールの利用率の全国平均や、近隣自治体のホール利用実績を考慮妥当な数値であると判断。

③「アスリートタウンづくり」の推進による交流人口の拡大

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
市外からの合宿延べ宿泊人数	5,007人	2,269人	3,226人	6,000人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
市外からの合宿参加者数(延べ人数)が、アスリートタウンづくりの目指す交流人口の拡大を表す指標として最も相応しいため。	<主な合宿(延べ人数)> ・ベガルタ仙台(590) ・ヤマハ発動機ジュビロ(371) ・東京経済大学硬式野球部(513) ・敬愛大学硬式野球部(380) ・旭化成柔道部夏期強化合宿(315) ・NTN陸上競技部(208) ・高校女子バレー春・夏強化合宿(1,037) ※その他(1,593)	<主な合宿(延べ人数)> ・ヤマハ発動機ジュビロ(778) ・ベガルタ仙台(562) ・7人制女子ラグビー代表(440) ・トヨタ自動車九州陸上部(174) ・ルートイン女子陸上部(130) ・九電工女子陸上部(115) ・高校女子バドミントン強化合宿(70)	<主な合宿(延べ人数)> ・ベガルタ仙台(602) ・静岡ブルーレヴズ(1,136) ・マイナビ仙台レディース(316) ・高校女子バレー冬強化合宿(176) ・実業団及び大学陸上部強化合宿(416) ・高校女子サッカー強化合宿(374) ・高校女子バドミントン強化合宿(206)	<主な合宿(延べ人数)> ・ベガルタ仙台(590) ・ヤマハ発動機ジュビロ(700) ・実業団及び大学硬式野球部(1,200) ・旭化成柔道部夏期強化合宿(500) ・高校女子バレー春・夏強化合宿(1,200) ※その他(810)

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト2 移住・定住推進、関係人口創出プロジェクト

④シェアサイクル導入による市内観光の促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
シェアサイクル利用者数	-	272人	497人	2,700人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
県体育館、「延岡城・内藤記念博物館」、野口遵記念館、城山公園等から中心市街地への人の流れを戦略的に創出する仕組みづくりの一つとして、令和2年7月からシェアサイクルの実証実験に取り組んでいる。多くの方々に豊かな歴史・文化をまちなかを回遊しながら楽しんでいただくための指標として設定している。	令和2年7月より実証実験開始	R2年度の月別延べ利用者数 7月：40人 8月：31人 9月：15人 10月：36人 11月：20人 12月：33人 1月：4人 2月：18人 3月：24人	R3年度の月別延べ利用者数 4月：51人 5月：29人 6月：42人 7月：28人 8月：37人 9月：27人 10月：46人 11月：72人 12月：41人 1月：49人 2月：27人 3月：48人	自転車全15台の利用を1回転とし、令和2の目標である0.2回転（1日延べ3人）に毎年20%増で目標値を算出。 R3 1,300人 R4 1,600人 R5 1,900人 R6 2,300人 R7 2,700人

【方向2-4 産学官の連携による若者の地元定着】

施策1 地元学生の定住を促進するための支援の実施

① 大学・高校と連携した地元企業への就職促進による雇用の創出

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
地元企業への就職に繋がった人数	5年間に90人	0人	3人	5年間に125人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
実施後、就業の確認ができる新卒を対象とした下記の事業で設定 ○県、市が主催する就職説明会（夏・冬）の参加企業に就職した人数	H27 28人(県14、市14) H28 19人(県12、市7) H29 10人(県7、市3) H30 22人(県10、市12) H31 11人(県11) ※市主催の説明会はコロナウイルスの関係で中止	県及び市主催の説明会は新型コロナウイルスの影響により中止	令和3年度 3人(県3) ※市主催の説明会については、今後調査を予定	これまでの実績と今後県内及び福岡圏域の大学生等をターゲットに取り組み地元企業情報の発信や、複数の企業によるインターンシップ等の効果を反映。

施策2 若い世代を対象とした地元企業の魅力発信

① 市内高校卒業生への定期的な企業情報等の発信

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
卒業生実家住所のデータベース件数	4年間に1,142件	172件	329件	5年間に2,000件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
高校卒業後、市外へ進学や就職した若者への情報提供手段として有効であるため	H28(H29年3月卒) 346件 H29(H30年3月卒) 591件 H30(H31年3月卒) 128件 H31(R02年3月卒) 117件 合計 1,182件 (※内40件は宛名不明)	令和2年度における新規登録件数	令和3年度における新規登録件数	過年度の登録者の割合から設定した年間300件に、今後保護者や学校等へ更なる協力を呼びかけることによる追加100件を加え目標値に設定。

② 県内ならびに福岡圏域における大学生等をターゲットにしたU I J ターン促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
地元企業のインターンシップ参加者数	-	23人	20人	5年間に150人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
県内と福岡圏域にターゲットを絞った事業として実施しているため	R2年度から実施しているため実績なし	県内：4人 福岡圏域：19人 新型コロナウイルスの影響により、R2年度はリモートにて実施	県内：5人 福岡圏域：15人 新型コロナウイルスの影響により、R3年度はリモートにて実施	県内インターンシップ5～10人＋福岡圏域インターンシップ20～25人で設定

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト2 移住・定住推進、関係人口創出プロジェクト

【方向2-5「ふるさと教育」の充実と教育環境の充実】

施策1

ふるさとへの愛着と誇りを醸成する教育の推進、理数系教育の学力向上

①小・中学校ふるさと教育推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
ふるさと教育授業回数	72回	62回	71回	80回/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
ふるさと教育授業は、現在、他の学習や活動で地域人材を活用していたり、日程調整の折り合いがつかなかったりするなどの理由から、事業が行われていない学校もあり、すべての学校が実での施を目指すため。	小学校 85%実施 中学校 100%実施	小学校 77%実施 中学校 87.5%実施	小学校 81.5%実施 中学校 87.5%実施	市内全小・中学校で実施 *対象学年(小5-中2)

②地域人材を活用した特色ある理数系教育の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
「のべおかげまし隊」の活動回数	13,148回	274回/年	1,622回	14,000回/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
地域人材による理数系教育の推進は全国的にも先駆的な取り組みであり、その取り組みの業績を測るものとして、企業OBを中心とした「NPO法人学校支援のべおかげまし隊」による授業支援(数学・理科)活動回数をKPIとして設定した。	延べ活動回数 ・数学 10,649回 ・理科 1回 ・算数 860回 ・英語 1,463回 ・面接 175回 合計 13,148回	延べ活動回数 ・セミナーチェック 77回 ・英語宅習チェック 127回 ・理科 3回 ・面接 67回	延べ活動回数 ・数学・算数 1,086回 ・英語 228回 ・面接 58回 ・その他 250回	延べ活動回数 ・数学 11,000回/年 ・理科 50回/年 ・算数 1,000回/年 ・英語 1,750回/年 ・面接 200回/年 合計 14,000回/年

③キャリア教育の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
よのなか教室実施回数	59回	69回	102回	5年間に300回
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
本市キャリア教育の一層の充実と推進を図る延岡市キャリア教育支援センターの主要事業であるため。	小学校 13回 中学校 32回 高校 14回 計59回	小学校 5回 中学校 23回 高校 41回 計69回	小学校 22回 中学校 39回 高校 41回 計102回	毎年度平均60回を目標とする。 (令和元年度 基準)

施策2

「(仮称)延岡こども未来創造機構」による新たな仕組みづくり

①関係団体と連携した「学校」「家庭」「地域」の三者だけでは十分に果たせない役割を担っていく新たな仕組みづくり

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
「STEMワークショップ」・「イングリッシュキャンプ」・「夢の教室」などの機構関連のワークショップ等の参加者数	217人	221人	595人	5年間で1,500人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
(仮称)延岡こども未来創造機構については、現在、組織づくりとあわせて、組織ができた際には実施することが望ましい事業について、スタートアップ事業として実施していることから、このような機構が実施する教育関連等のワークショップ等の参加者数を指標とした。	STEM教室：47人 夢の教室：135人 教員向けSTEM教室：13人 造形ワークショップ：22人	STEMワークショップ：134人 ENGLISHCAMP：27人 夢の教室：57人 オンライン社会見学：3人	STEAMワークショップ：121人 ENGLISHCAMP：21人 夢の教室：142人 自然体験：19人 グローバルコミュニケーション34人 グラフィック・ワークショップ18人 非認知に関するワークショップ110人 テークワークショップ117人 中学生オンライン特別講座13人	年300人×5年間＝1,500人 STEMワークショップ：120人 ENGLISHCAMP：30人 夢の教室：90人 自然体験活動：60人 計300人/年

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト2 移住・定住推進、関係人口創出プロジェクト

【方向2-6 関係人口の創出】

施策1

関係人口創出に向けた新たな取組

① コワーキングスペースの設置による新型ビジネス・企業誘致・ワーケーションの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
利用件数	-	-	212人	5年間に9,000人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
延岡駅西口街区再開発ビル内に、コワーキングスペースを整備するとともに、隣接してIT企業誘致床を整備し、利用者相互の連携や各種セミナーや講演会の開催など、本市のデジタル革命の拠点としての機能の構築を図っているところであるため、指標として設定。	利用者の実績なし。	延岡駅西口街区再開発ビル建設中に伴い、利用者実績なし。	212人 (R4.3.1~R4.3.31) *延岡市コワーキングスペースは、R4.3.1にオープン。	毎年1,800人を目標。 1日6人の利用を想定。 6人×300日=1,800人/年 1,800人×5年=9,000人

② クラウドファンディング連携事業

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
クラウドファンディングコンテスト申込者数	5件	6件	4件	15件/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
本事業は、クラウドファンディングを活用することで、市民団体等の資金調達を促すとともに、新たなビジネスの種の創出、情報発信、関係人口の創出等につなげるものである。プランコンテストへの申込者数を目標値に設定することで、クラウドファンディングへの関心を高め、延岡市の情報発信及び関係人口の創出につなげる。	クラウドファンディングプランコンテスト申込者数 5人(団体)	クラウドファンディングプランコンテスト申込者数 6人(団体)	クラウドファンディングプランコンテスト申込者数 4人(団体)	R1基準値5人(団体)×3倍=15人(団体)

③ 副業・兼業や顧問等、大都市圏の人材による地元中小企業の成長支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
地元企業と副業・兼業人材等のマッチング件数	-	-	14件	5年間に75件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
販路開拓やIT化など地元中小企業が抱える課題について、大都市圏の副業・兼業人材とのマッチングを支援し、中小企業の発展・振興を図るため指標として設定した。	-	-	R01 14件(契約成立)	毎年度15件を目標とする。

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト3 結婚・出産・子育て支援プロジェクト

[方向3-1 結婚へのきっかけづくり]

施策 1	結婚まで繋がりやすい婚活イベントの実施と支援体制の充実
-------------	------------------------------------

①婚活イベント等への支援				
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
イベント参加によるカップル成立数	4年間に131組	年間 0組	年間 0組	5年間に150組
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
イベント参加者の成婚状況は把握できないため、開催時のカップル成立数で設定	H28 : 36組 H29 : 38組 H30 : 30組 H31 : 27組	R2年度は新型コロナウイルスの影響により婚活イベントが中止	令和3年度は婚活イベントへの支援実績なし	R2年度はコロナウイルスの影響で婚活イベントが中止になっており、今後も増加は見込めないため、年平均30組で設定

②みやざき結婚サポートセンター等への登録支援				
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
登録支援による成婚者数	3年間に14組 (H29~R1)	年間 10組	年間 3組	5年間に50組
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
みやざき結婚サポートセンター登録者で登録中に成婚した人数が把握できるため	H29年度 : 6組 H30年度 : 5組 H31年度 : 3組	※参考 登録補助件数 : 17件	※参考 登録補助件数 : 10件	サポートセンターへの登録補助件数も増加傾向にあるため、成婚者数を年平均10組で設定

[方向3-2 産科・小児医療体制の維持充実]

施策 1	周産期医療体制や情報発信の充実
-------------	------------------------

①周産期医療・小児医療体制の維持及び強化				
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
小児科医数	計6人	計7人	計7人	計8人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
安心して子育てができる初期救急医療体制（夜間や日曜日に対応する小児科医の維持確保）を整備するため。	R01年度 市内の小児科専門医数	R2年度 市内の小児科専門医数（R2年9月、新規の小児科開業）	R3年度 市内の小児科専門医数	R1の医師数の維持に加え、新規開業医や勤務医の増加を目指す

②小児医療情報の提供				
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
すくすくワクチン登録世帯数	累計3,095件 (H27~)	累計3,393件	累計3,711件	累計6,000件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
スマホのアプリを活用し登録するだけで、子どもの予防接種スケジュールや健診情報等を容易に知ることができ、保護者の負担軽減や予防接種率向上による感染症罹患率の低下が見込まれるほか小児科医療機関の負担軽減にもつながることから、その登録世帯数の増加を図るため。	すくすくワクチン登録世帯数 H27… 1,079件 H28… 599件 H29… 579件 H30… 433件 R01… 405件 <累計> 3,095件	すくすくワクチン登録世帯数 ~R01… 3,095件 R02 … 298件 <累計> 3,393件	すくすくワクチン登録世帯数 ~R02… 3,393件 R03 … 318件 <累計> 3,711件	すくすくワクチン登録世帯数(見込) R2年度 500件 R3年度 500件 R4年度 500件 R5年度 500件 R6年度 500件 R7年度 500件 累計 6,000件

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト3 結婚・出産・子育て支援プロジェクト

【方向3-3 子育て家庭に対する支援体制の拡充】

施策 1 子育て家庭に対する支援体制の整備・促進

① 子育て支援総合拠点施設の利用促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
施設利用者数	—	430人	9,563人	累計3万人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
「(仮称)子どもの城」整備基本構想・基本計画から引用したもの。 施設整備の構想時点から年間3万人の利用を見込んでいる。	施設が整備中のため。	令和3年2月よりプレオープン(病後児保育事業、一時預かり事業、子育て相談等、一部の事業を開始した)	令和3年10月 地域子育て支援拠点事業開始 令和3年11月 インクルーシブ遊具共用開始 令和4年1月 グランドオープン	開館日数を年間300日と仮定し、1日当たり100人の利用を見込んでいる。

② 子育てに関する相談支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
相談窓口の設置件数	計14か所	計12か所	計13か所	計15か所
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
子育てに関する相談窓口の実数を記載している。	地域子育て支援拠点 4か所 児童館 7か所 なんでも総合相談センター 子育て世代包括支援センター こども家庭課	地域子育て支援拠点 4か所 児童館7か所 こども家庭課	地域子育て支援拠点 5か所 児童館7か所 こども保育課	延岡市子育て支援総合拠点施設「えんキッズ」を追加した。

③ 子どもの医療費助成による子育て支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
助成利用件数	130,000件	141,375件	180,231件	193,000件/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
出生率は減少傾向にあるものの、令和2年4月から歯科以外の外来診療(診療時間内に限る)について、助成対象者を小学生まで、令和3年4月からは中学生まで拡大することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもの疾病等の治療を容易にし、子どもの保健福祉の増進と健全育成を図ります。	医科・調剤 未就学児 106,023件 小学生 0件 中学生 0件 歯科 未就学児 10,684件 小学生 9,994件 中学生 2,428件 入院 未就学児 307件 小学生 114件 中学生 60件 計 129,610件	医科・調剤 未就学児 86,921件 小学生 31,851件 中学生 0件 歯科 未就学児 7,535件 小学生 11,514件 中学生 2,758件 入院 未就学児 637件 小学生 114件 中学生 45件 計 141,375件	医科・調剤 未就学児 96,119件 小学生 47,824件 中学生 13,360件 歯科 未就学児 7,671件 小学生 11,567件 中学生 2,872件 入院 未就学児 641件 小学生 111件 中学生 66件 計 180,231件	医科・調剤 未就学児 106,000件/年 小学生 42,500件/年 中学生 21,500件/年 歯科 未就学児 10,500件/年 小学生 9,800件/年 中学生 2,300件/年 入院 未就学児 250件/年 小学生 100件/年 中学生 50件/年 計 193,000件/年

【方向3-4 働きながら子育てしやすい環境づくり】

施策 1 ワークライフバランスの推進

① 放課後児童クラブの増設

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
設置か所数	計18か所	計19か所	計20か所	計20か所
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
放課後児童クラブの既存設置か所数と今後の設置予定か所数を記載した。	令和元年度末時点での設置か所数	令和2年度末時点での設置か所数	令和3年度末時点での設置か所数	設置予定 R2年度 伊形小児童クラブ R3年度 土々呂小児童クラブ

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト3 結婚・出産・子育て支援プロジェクト

②市内保育所の受け入れ体制の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
保育所、認定こども園、幼稚園の定員数	計4,410人	計4,470人	計4,490人	計4,500人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
低年齢児の入所ニーズが増加傾向であり、受け皿を確保してきたが、近年、少子化が加速しており、保育所等の入所の実態に則した利用定員に設定していくため。	R 01 4,410人 (135人増)	R 02 4,470人 (60人増)	R 03 4,490人 (20人増)	R 03 20人増 4,490人 R 04 10人増 4,500人 R 05 - 4,500人 R 06 - 4,500人 R 07 - 4,500人

③保育士養成による保育人材の確保

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
市内保育士養成校での保育士免許取得者数	-	-	-	累計70人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
保育士等養成校を誘致し、小田原短期大学延岡スクールがR2.10月に開校し、保育士資格取得していくことで、今後の保育人材の確保につながるため。	R 2.10月開校 実績なし	履修中 (3年コース) につき実績なし	履修中 (3年コース) につき実績なし	R 03 0人 R 04 10人 R 05 20人 R 06 20人 R 07 20人 計 70人

④病児・病後児保育施設の整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
病児・病後児保育の施設数	計1か所	計4か所	計4か所	計4か所
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
既存の病児・病後児保育施設の数と今後設置される予定の施設数を記載した。	おやこの森	<ul style="list-style-type: none"> ・おやこの森 ・延岡市子育て支援総合拠点施設「えんキッズ」 ・トトロこどもクリニック病児保育室さんぽ ・延岡共立病院病児保育室 (令和3年4月開設) 	<ul style="list-style-type: none"> ・おやこの森 ・延岡市子育て支援総合拠点施設「えんキッズ」 ・トトロこどもクリニック病児保育室さんぽ ・延岡共立病院病児保育室 	<ul style="list-style-type: none"> ・トトロこどもクリニック病児保育室さんぽ令和2年9月1日開設。 ・(仮)延岡共立病院病児保育室令和3年4月の開設予定。 ・延岡市子育て支援総合拠点施設「えんキッズ」令和3年2月8日開設。

【方向3-5 多子世帯への支援】

施策 1	多子世帯子育て支援
------	-----------

①多子世帯向け子育て支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
多子世帯数 (18歳未満の子どもが3人以上いる世帯)	計2,111世帯	計2,205世帯	1,969世帯	計2,100世帯
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
社人研が実施した夫婦の理想のこどもの数は、2.32人となっているが、実際に夫婦が持つこどもの数は、2.01人と理想より少なくなっている。その理由として、子育てや教育にお金がかかることや家が狭いなどの経済的理由が挙げられる。そのため、夫婦の経済的要因を緩和するための支援などを検討する必要があるため。	H28年4月 2,173世帯 H29年4月 2,130世帯 H30年4月 2,143世帯 H31年4月 2,111世帯	R 02年4月 2,205世帯	R 4.4.1時点 1,969世帯	人口減少に歯止めをかけるため、各種施策により合計特殊率の向上を図ることで、多子世帯数2,100世帯を維持することを目標とする。

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト4 持続可能な選ばれるまちづくりプロジェクト

[方向4-1 ICT等活用による行政サービスの向上及び業務の効率化]

施策 1	ICT等活用による市民サービスの向上
------	--------------------

①行政手続き・行政サービスのオンライン化やRPA等ICT関連導入事業の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
オンライン申請実施業務数	計3業務	計4業務	計3業務	計20業務
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
国の示している行政手続きのオンライン化の原則に基づき、本市でもオンライン化を推進し市民の利便性向上を図る。	eITAX 電子入札 図書館の貸し出し申請	・定額給付金申請（びつたりサービス） ・プレミアム商品券（予約受付） ・講演会申し込み（吉野彰氏講演会） ・PayPay導入（納税）	児童手当現況届 介護保険負担割合証の再交付申請 被保険者証の再交付申請	R2年度 3業務 R3年度 4業務 R4年度 4業務 R5年度 3業務 R6年度 3業務 R7年度 3業務
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
RPA実施業務数	—	計8業務	計6業務	計30業務
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
業務効率化および働き方改革等の観点から、入力業務の自動化のためのRPAの導入や手書き申請書等のデータ化のためのAI-OCRの導入に取り組む。	—	・高額療養費支払業務 ・はり灸申請書受付業務 ・時間外勤務手当支払業務 ・児童手当現況届受付業務 ・新規口座振替受付業務 ・財産調査結果入力業務 ・「こころのメッセージ」入力業務 ・支払業務（情報政策課）	・調定書作成業務 ・放課後児童クラブ加入者登録業務 ・非課税年金対象者の所得情報入力業務 ・財産入力業務 ・マイナンバーカード交付管理簿作成業務 ・契約管理システム業者登録業務	R2年度 8業務 R3年度 5業務 R4年度 5業務 R5年度 4業務 R6年度 4業務 R7年度 4業務

②市民一人一人のニーズに合った行政サービスのDXの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
データ分析等に基づきバス路線実証運行エリア	—	4中学校区	1中学校区	5年間に8中学校区
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
ICTによるデータ収集・分析の利活用の幅をバス路線にも広げ、市民サービスの向上につなげるため。	—	東海中：北部まちなか循環バス 南中：南部まちなか循環バス 土々呂中：南部乗合タクシー 延岡中：方財乗合タクシー	土々呂中：南部乗合タクシー	東海中：北部まちなか循環バス 南中：南部まちなか循環バス 土々呂中：南部乗合タクシー 延岡中：方財乗合タクシー 恒富中：西部再編 南方中：西部再編 西階中：西部再編 旭中：東部再編 (昭和・川原崎)

[方向4-2 持続可能な中山間地域づくりの推進]

施策 1	地域おこし協力隊の定住推進等
------	----------------

①中山間地域における地域活動支援、定住推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
地域おこし協力隊の採用・定住推進	累計 採用数：6人 定住率：25%	新規採用数：1人 定住率：40%	新規採用数：0人 定住率：40%	新規採用数：7人 定住率：50%
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
平成28年度以来、令和元年度までに6名の地域おこし協力隊を採用し、4名が退任したが、定住につながったのは1名のみであった。協力隊活動のサポート体制を見直すとともに活動支援を強化し、効果的な定住推進に取り組む。	北方町 採用2名、退任2名、定住0名 北浦町 採用2名、退任0名 北川町 採用2名、退任2名、定住1名 島浦町 採用0名	北方町 採用2名、退任2名、定住0名 北浦町 採用2名、退任1名、定住1名 北川町 採用2名、退任2名、定住1名 島浦町 採用1名、退任0名	北方町 採用2名、退任2名、定住0名 北浦町 採用2名、退任1名、定住1名 北川町 採用2名、退任2名、定住1名 島浦町 採用1名、退任0名	令和2～3年度 北方町 採用1名 北川町 採用1名 島浦町 採用1名 令和4～6年度 北方町 採用1名 北浦町 採用1名 北川町 採用1名 島浦町 採用1名

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト4 持続可能な選ばれるまちづくりプロジェクト

施策2 地域に適した地域交通ネットワークの構築

①コミュニティバス、スクールバス住民混乗、地域住民主導の移動手段構築による移動支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
コミュニティバス・スクールバス住民混乗・地域住民主導の移動手段の合計利用者数	12,726人	12,463人	12,394人	15,000人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
中山間地域における移動手段はコミュニティバスだけだったが、令和2年10月から北浦町でお守り隊による移動支援が開始され、令和3年度にはスクールバスへの住民混乗も加えた複数の移動手段を組み合わせることで住民の移動を支えている。 コミュニティバスの利用者は、年平均6%程度減少しているが、移動手段の選択肢を増やすことで、全体として利用者を維持したい。	○コミュニティバス 北方線（9路線）4,333人 北浦線（3路線）1,859人 北川線（4路線）5,620人 旧延岡（4路線）914人 ○スクールバス住民混乗 未実施 ○地域住民主導の移動手段 未実施	○コミュニティバス 北方線（9路線）4,085人 北浦線（3路線）1,535人 北川線（4路線）5,099人 旧延岡（4路線）916人 南部乗合タクシー（3路線）252人 ○スクールバス住民混乗 未実施 ○地域住民主導の移動手段 北浦お守り隊 21人 高齢者福祉協会 13人 アイライク南方 497人 方財区 45人	○コミュニティバス 北方線（9路線）3,589人 北浦線（3路線）1,661人 北川線（4路線）4,930人 旧延岡（4路線）885人 南部乗合タクシー（3路線）441人 ○スクールバス住民混乗 未実施 ○地域住民主導の移動手段 北浦お守り隊 141人 高齢者福祉協会 36人 アイライク南方 668人 方財区 43人	○コミュニティバス 網計画策定時実績（H30）に南部乗合タクシーの実証目標値を上乗せ。 北方線（9路線）4,634人 北浦線（3路線）2,075人 北川線（4路線）6,098人 旧延岡（4路線）905人 南部乗合タクシー 1,248人 ○スクールバス住民混乗 3路線 180人 ○地域住民主導の移動手段 1団体 120人 合計 約15,000人

【方向4-3 市内中心部の賑わい創出】

施策1 駅まちエリアの賑わいの再生

①『駅まちエリア』魅力づくりの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
駅まちエリアにおける通行量	2650人/日	3,281人/日	3,305人/日	3700人/日
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
駅前複合施設「エクス」の開館や小田原短期大学延岡スクールの開校、延岡駅西口街区における再開発ビルの整備等により、駅まちエリアで創出される賑わいの周辺商店街等への波及効果を示す指標となるため。	株式会社まちづくり延岡による通行量調査より（令和元年度） ①幸町（ココレッタ延岡前）873人/日 ②栄町（ノマドハウス前）522人/日 ③山下町（今山鳥居前）1255人/日 * 平日午前9時～午後7時までの上記3地点の通行量の合計。	株式会社まちづくり延岡による通行量調査より（令和2年度） ①幸町（ココレッタ延岡前）907人/日 ②栄町（ノマドハウス前）575人/日 ③山下町（今山鳥居前）1,799人/日 * 平日午前9時～午後7時までの上記3地点の通行量の合計。	株式会社まちづくり延岡による通行量調査より（令和3年度） ①幸町（ココレッタ延岡前）917人/日 ②栄町（ノマドハウス前）549人/日 ③山下町（今山鳥居前）1,839人/日 * 平日午前9時～午後7時までの上記3地点の通行量の合計。	令和3年度に完成する、再開発ビルによる通行量の増加を見込む。 令和2年度：2750人/日（令和元年度より100人/日増） 令和3年度：2900人/日（令和2年度より150人/日増） 令和4年度：3250人/日（令和3年度より350人/日増） 令和5年度：3450人/日（令和4年度より200人/日増） 令和6年度：3600人/日（令和5年度より150人/日増） 令和7年度：3700人/日（令和6年度より100人/日増）
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
駅まちエリア等新規出店数	—	6店	18件	5年間に20店
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
駅まちエリア等に人を呼び込み周遊させるためには、魅力ある店舗の充実が重要であり、空き店舗等を活用した新規出店を促進する必要があるため。	—	令和2年度に駅まちエリアで新規出店した店舗は、下記のとおり 短期大学 : 1校 小売業 : 1店 飲食業 : 1店 IT系事業所 : 2店 ネイルサロン : 1店	整骨院 : 2件 建築業 : 1件 小売業（飲食物） : 1件 飲食業 : 1件 社会福祉士事務所 : 1件 人材派遣業 : 1件 延岡駅西口街区ビル : 11件	再開発ビルの完成を見据え、また、県体育館、「延岡城・内藤記念博物館」、野口遵記念館等に集まる人を駅まちエリア等に呼び込む環境づくりを進めるために、駅まちエリアにおける開業等支援事業や商店街空き店舗対策事業等により、新規出店支援を行っていく。 このような取組を踏まえて、平均4店舗/年の新規出店を見込む。

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト4 持続可能な選ばれるまちづくりプロジェクト

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
西口再開発ビルコワーキングスペース利用件数 (再掲)	—	—	212人	5年間に9,000人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
延岡駅西口街区再開発ビル内に、コワーキングスペースを整備するとともに、隣接してIT企業誘致床を整備し、利用者相互の連携や各種セミナーや講演会の開催など、本市のデジタル革命の拠点としての機能の構築を図っているところであるため、指標として設定。	利用者の実績なし。	延岡駅西口街区再開発ビル建設中に伴い、利用者実績なし。	212人 (R4.3.1~R4.3.31) *延岡市コワーキングスペースは、R4.3.1にオープン。	毎年1,800人を目標。 1日6人の利用を想定。 6人×300日=1,800人/年 1,800人×5年=9,000人

【方向4-4 ふるさとへの愛着と誇りの醸成、定住自立圏構想】

施策1	地域連携による圏域全体の魅力向上
-----	------------------

①定住自立圏構想や広域行政事務組合などを活用した地域連携

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
新たな広域連携の枠組み	計4件	計1件	計1件	計10件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
単独自治体では解決困難な課題に対し、広域で取組むことで地域の振興を図るため、H27年度以降に設置された広域連携による新たな枠組みの数を設定。	①東九州市町村連絡会 (H27年度より加入) ②祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会 (H29年9月9日設立) ③東九州バススク化構想推進協議会 (H28年9月26日設立) ④延岡・西臼杵権利擁護センター【延岡・西臼杵中核機関】(R1年10月1日設立)	大分・宮崎県境5市政協議会 (R3年2月22日設立)	大分・宮崎県境5市政協議会 サイクルツーリズム推進部会 (R4年3月18日設立)	R2年度~R7年度まで、毎年、1件の新たな枠組みを追加。 ※新たな枠組み1件/年×6か年=6件 (H27~R1)4件+(R2~R7)6件=10件

施策2	多様な人々が活躍できる地域社会の推進
-----	--------------------

①生涯学習人財バンクの登録者数

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
生涯学習人財バンクの登録者数	80人	75人	73人	100人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
多様な人々が活躍できる地域社会づくりの推進度を測るものとして、市民が身近な場所でお互いに学びあうことができる、生涯学習人財バンクの登録者数をKPIとして設定した。	生涯学習、人文・社会科学、自然科学、産業・技術、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション、健康・福祉・家庭、趣味・娯楽、市民生活の各分野の登録者数	生涯学習、人文・社会科学、自然科学、産業・技術、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション、健康・福祉・家庭、趣味・娯楽、市民生活の各分野の登録者数	生涯学習、人文・社会科学、自然科学、産業・技術、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション、健康・福祉・家庭、趣味・娯楽、市民生活の各分野の登録者数	各分野での人財の底上げを図り、全体として100人とする。

②のべおか市民大学院の累計受講者数

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
のべおか市民大学院の受講者数	累計986人	50人	53人	累計1,300人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
平成12年度から開設しているのべおか市民大学院の累計受講者数	平成12年度から令和元年度までに市民大学院を受講した市民の数の合計 各年度で定員数、受講者数が異なり、40人から53人で推移している。	のべおか市民大学院受講者数 ※定員は53人であるが、応募者数が50人であったため、例年より受講者数が少なくなった。	のべおか市民大学院受講者数 ・男性 19名 ・女性 34名 ・受講者平均年齢：68.91歳 (最年長82歳、最年少41歳) ・延岡市内 45名 市外 8名	令和7年度までに毎年53人が受講したと仮定した場合の累計受講者数

③市民協働のまちづくりの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
市民まちづくり活動支援事業採択件数	18件	25件	18件	5年間に100件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
本事業は、市民によるボランティア活動などに対して助成するもので、事業の活用を促すことで、市民活動の中心となる人材や新たな団体の育成が図られることになり、多様な人々が活躍できる地域社会が推進されるため。	まちづくり活動 14件 市民延joy活動 1件 広域コミュニティ 3件 伝統文化活動 0件	まちづくり活動 18件 市民延joy活動 3件 広域コミュニティ 4件 伝統文化活動 0件	まちづくり活動 15件 課題解決協働活動 1件 広域コミュニティ 2件 伝統文化活動 0件	まちづくり活動 74件 市民延joy活動 10件 広域コミュニティ 15件 伝統文化活動 1件

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト4 持続可能な選ばれるまちづくりプロジェクト

④市民が主役のまちづくりの促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
意見募集に対する提出された意見数	422件	1,264件	138件	5年間に2,110件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
行政運営における公正の確保及び透明性の向上を図るため、政策等の策定や改廃にあたり、あらかじめ公表して、市民から意見を募集する。提出された意見を十分考慮して意思決定を行うことから、提出される意見件数を指標とした。	令和元年度パブリックコメント意見数：422件	パブリックコメント意見数 1,264件	パブリックコメント意見数 138件	R1基準値(422件)×5年÷2110件

【方向4-5 健康長寿、災害に強い市民が安心安全なまちづくり】

施策1 健康長寿・安心安全なまちづくりの推進

①のべお健康マイレージ事業（仮称）の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
のべお健康マイレージ事業の参加者数	248人 (R1実証事業)	のべお健康マイレージアプリの構築	6,382人	2,000人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
現在、紙媒体で実施している「のべお健康長寿ポイント事業」の実応募者数が約1,700人であることから、健康マイレージ事業の参加者数を2,000人で設定している。	<ul style="list-style-type: none"> 男性 125名 (50%) 女性 108名 (44%) 不明 15名 (6%) 60代未満 207名 (84%) 60代以上 26名 (10%) 不明 15名 (6%) 	R3.7.16時点 参加者数 2,236人 <ul style="list-style-type: none"> 男性 1,027名 (45.9%) 女性 810名 (36.2%) 不明 399名 (17.9%) 60代未満 1,564名 (70%) 60代以上 322名 (15%) 不明 350名 (15%) 	R4.3.31時点 参加者数 6,382人 <ul style="list-style-type: none"> 男性 1,899名 (29.8%) 女性 3,103名 (48.6%) 不明 1,380名 (21.6%) 60代未満 4,036名 (63%) 60代以上 1,092名 (17%) 不明 1,254名 (20%) 	<ul style="list-style-type: none"> 男性 1,000名 (50%) 女性 880名 (44%) 不明 120名 (6%) 60代未満 1,680名 (84%) 60代以上 200名 (10%) 不明 120名 (6%)

②総合相談機能を持つ窓口等による市民の安心・安全なまちづくり

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
なんでも総合相談センター相談件数	762件 (R1：6ヵ月)	2,996件	2,740件	5年間に12,000件
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
R1.10月～R2.9月までの年間実績をもとに、各年度実績を前年度比約1.1倍で設定し、12,000件で設定している。	(窓口) 平日 460件、休日 57件 (電話) 平日 190件、休日 33件 (LINE) 平日 0件、休日 0件 (メール) 平日 16件、休日 6件 ※LINEはR2年5月より開始の為、R1年度実績なし	(窓口) 平日 651件、休日 79件 (電話) 平日 1,399件、休日615件 (LINE) 平日 166件、休日 34件 (メール) 平日 41件、休日 11件 ※LINEはR2年5月より開始	(窓口) 平日 834件、休日 74件 (電話) 平日 1,297件、休日439件 (LINE) 平日 0件、休日 0件 (メール) 平日 80件、休日 16件 ※LINEはR3年4月より休止中	(窓口) 平日 5,137件、休日 611件 (電話) 平日3,928件、休日1,303件 (LINE) 平日 517件、休日 101件 (メール) 平日 309件、休日 94件

③スポーツ振興を通じた市民の健康づくり

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
スポーツ施設利用者数	473,116人/年	297,294人	345,068人	600,000人/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
スポーツ施設の利用者が、スポーツ振興を通じた市民の健康づくりを表す指標として最も相応しいから。	屋内施設 159,367 人 屋外施設 313,749 人	屋内施設 98,204人 屋外施設 199,090人	屋内施設 96,065人 屋外施設 249,003人	屋内施設 212,000 人 屋外施設 388,000 人

第2期延岡新時代創生総合戦略 KPI管理表

資料1-2

プロジェクト4 持続可能な選ばれるまちづくりプロジェクト

施策2

安全・安心な暮らしの実現

①自主防災組織の充実強化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
自主防災組織数	計278組織	計277組織	計279組織	計295組織
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
「自分たちの地域は自分たちで守る」という理念のもと、各地区により自主的に結成された自主防災組織は、令和元年には278組織となり、災害発生時の地域防災力の向上が期待される。	R01 278組織 (293地区)	R02 277組織 (293地区) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区の集会や総会等が行えず、組織結成に至らなかった。また、1区が廃止された事に伴い、自主防災組織が1組織減少した。	R03 279組織 (296地区) 自主防災組織が2地区で新たに結成された他、既存組織へ1地区が編入した。	R02 282組織 (4組織増) R03 286組織 (4組織増) R04 289組織 (3組織増) R05 292組織 (3組織増) R06 295組織 (3組織増)

②みんなで決めて、みんなで逃げる住民主体の防災

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
避難訓練回数	78回	24回	50回	100回/年
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
日頃から積極的に防災訓練や区の活動に参加することにより、地域の自助・共助が向上し、災害時の早期避難、逃げ遅れゼロに繋がる。	令和元年度：78回	令和2年度：24回 新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練が実施できず、前年度と比較して実施回数が減少した。	令和3年度：50回	H27年度～R元年度の5年間で最多回数は84回であるが、市民の防災意識の向上を目指し、高めの目標値を設定し、年間100回とする。
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
LINE登録者数	—	5,447人	21,794人	計17,000人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
今年度より開始した情報伝達手段の一つであり、市民に迅速に情報を伝えることにより、災害時の早期避難に繋がる。	※R2.10月現在：884人	R3.3.31現在：5,447人	R4.3.31現在：21,794人	17,000人 (≒52,245/3) 本市世帯数52,245世帯 (R2.11.1現在)を情報伝達手段3つ (LINE、防災アプリ、災害情報メール) で除して、1,000以下を切り捨てたもの。
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
防災アプリ登録者数	—	—	5,008人	計17,000人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
令和3年度より開始する情報伝達手段の一つであり、市民に迅速に情報を伝えることにより、災害時の早期避難に繋がる。	令和3年度開始により実績なし。	令和3年度開始により実績なし。	R4.3.31現在：5,008人	17,000人 (≒52,245/3) 本市世帯数52,245世帯 (R2.11.1現在)を情報伝達手段3つ (LINE、防災アプリ、災害情報メール) で除して、1,000以下を切り捨てたもの。
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
災害情報メール登録者数	計8,715人	9,056人	8,398人	計17,000人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
現在実施している情報伝達手段の一つであり、市民に迅速に情報を伝えることにより、災害時の早期避難に繋がる。	8,715人	R3.3.31現在：9,056人	R4.3.31現在：8,398人	17,000人 (≒52,245/3) 本市世帯数52,245世帯 (R2.11.1現在)を情報伝達手段3つ (LINE、防災アプリ、災害情報メール) で除して、1,000以下を切り捨てたもの。
重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	参考実績 (R2)	1年目実績 (R3)	目標値(R7)
防災ラジオ所有者数	—	—	159人	計1,000人
設定理由	実績内訳	実績内訳	実績内訳	目標内訳
令和3年度より開始する情報伝達手段の一つであり、携帯電話やスマホを利用するのが困難な要配慮者向けに迅速に情報を伝えることにより、災害時の早期避難に繋がる。	令和3年度開始により実績なし。	令和3年度開始により実績なし。	R4.3.31現在：159人	避難行動要支援者名簿登録者は5,000人弱であるが、関係者によると避難支援計画 (個別計画) が必要な方が2,000人程度。 総務省の資料によると宮崎県のスマホ利用率が53.4%のため、2,000人×0.5で1,000人を想定している。